愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	舩木 恵一	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

最終学年の専門演習では、大学における学修生活の集大成として、学生の個人研究～ゼミ論文執筆と、進路に関する活動をベースとしながら、演習として時事的なトピックスや、社会人になるにあたって重要テーマの学習に取り組みます。学習を通して、論理的思考力・表現力・コミュニケーション力の向上を図るとともに、主体的な行動、生涯学習や自己啓発の重要性を理解してゆきます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	対面による演習を行います。テーマ学習は原則、アクティブラーニング方式で、①ディスカッション、②グループワーク、③サーチ、④プレゼンテーション、⑤レポーティングなどを行います。論文執筆や就活などの進捗報告と指導を適宜行います。後期の到達目標として、ゼミ論文の100%完成を目指します

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	個人学習状況アップデート～後期演習活動及び日程の確認	単位取得状況及び卒業要件の確認、前期行動計画の作成と提出　個人面談日程調整　⑤	□
第2回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します　⑤	□
第3回	テーマ学習：入社前に考えておくべきこと　その一	身に付けたい（向上させたい）スキルとは　各自のスキルアップテーマをディスカッションし、発表する　①、②、④	□
第4回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します　⑤	□
第5回	テーマ学習：入社前に考えておくべきこと　その二	学生最後の冬休み・春休みの過し方、悔いを残さない学生最後の数か月の過ごし方　①、②、④	□
第6回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します　⑤	□
第7回	ゼミ論文中間チェック	75%執筆原稿完成。11,000～12,000字の提出（全員）⑤	□
第8回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します　⑤	□
第9回	テーマ学習：入社前に考えておくべきこと　その三	人生100年時代の人生設計、20年後、40年後、60年後の社会と自分のついて考える　①、②、④、	□
第10回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します　⑤	□
第11回	テーマ学習：入社前に考えておくべきこと　その四	最初の給与と賞与の使い道、社会人初年度に必要なもの、新生活の準備とは？　①、②、④	□
第12回	個人研究の進捗確認	個人ベースにて、進路決定状況、個人研究～ゼミ論文のテーマと項目の詳細を報告します　⑤	□
第13回	ゼミ論文最終チェック	100%執筆原稿完成。15,000以上の提出（全員） 演習発表大会の準備（ゼミ代表の選出）⑤	□
第14回	演習発表大会への参加（当日）	専門演習発表大会にて、研修発表の報告を行う　③	□
第15回	演習最終総括	4年間の学習振り返りと卒業準備　（学修満足度調査）	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

個人研究～ゼミ論文の執筆は、授業時間外の時間管理が重要となります。調査や執筆として毎週5時間程度の時間を割くように配分してください。テーマ学習では予習や準備に2時間程度、復習や関連する知識を自ら学習するなどの活動を2時間程度行ってください。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

対面による個人面談やオンライン面談を通じて、個人研究～ゼミ論文の指導を実施します。その他テーマ学習における資料や課題等は、LMSを利用します。課題は添削や採点をして戻します。質問はLMSのチャット及びメールにて随時受け付けます。またオフィスアワーを利用しての面談も可能です。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	国際的なニュース、経済情報、新技術、働き方改革など経営を取り巻く環境変化に関心を持ち、その変化がビジネスや社会全体に与える影響を幅広く思考し、多面的な判断の上、自身の考えを様々な場面において、的確に文章化・プレゼンテーションできる。 企業・団体や様々な個性や、利点及び問題点を抱えている地域社会において、多様な人々と協働し、自己の意思・意欲・計画を他者にわかりやすく説明できる。
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	広く社会を認識し、同時に自らの価値観に基づいて、将来における社会への貢献性について、専門知識や技能を深める領域を探求し、主体性を持って継続的に強みを増やす習慣を身に付ける。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験とは出席点ではありません。テーマ学習への参加態度、積極性、主体的な学び、予習復習への取組を総合的に判断します。その他評価は、ゼミ論文の到達目標に対する達成度で判断します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。必要に応じて講師が用意します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		